

□「就職」とは、給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含まれますが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者には含まれません。（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱いません。）

・正規の職員・従業員、自営業主等・・・雇用期間の定めのないものとして就職した者、自営業主等は、個人経営の事業を営んでいる者及び家族の営む事業に継続的に本業として従事する者をいいます。

・正規の職員等でない者・・・雇用期間が1年以上で期間の定めのある者であり、かつ1週間の所定の労働時間がおおむね40～30時間程度の者をいいます。なお、労働者派遣法に基づく派遣労働者は、「正規の職員・従業員、自営業主等」には計上せず、「正規の職員等でない者」又は「F-一時的な仕事に就いた者」に計上します。

□正規の手続を行った学校のみが記入します。実態として中高一貫教育を行っていても、正規の課程を履修していない学校は記入の必要はありません。また、正規の手続を経ていても、本年4月1日以降に中高一貫教育を行う事となった学校は記入の必要がありません。

□臨時収入を得る仕事に就いた者であり、雇用期間が1年未満又は雇用期間の長さにかかわらず短時間勤務の者をいいます。例えば、アルバイト、パート等で一時的な仕事に就いた者を記入します。

平成 年度 学校 基本 調査  
卒業後の状況調査票（高等学校 全日制・定時制）（4-1）  
—平成 年5月1日現在—

都道府県番号	学校調査番号
4 8	5 6 7 2 3

高卒 1

1 学校の所在地 東京都千代田区霞が関〇-〇-〇

2 (フリガナ) 学校名 文部科学 分校

3 学校種別 1 高等学校

4 設置者別 1 国立

5 本校分校別 1 本校 2 分校

6 中高一貫教育の実施形態 (中高一貫教育を行う学校のみ)

7 学科別

8 課程別

9 状況別卒業生数

□廃校となった場合でも、前年度に卒業者がいる場合、本調査票の作成が必要です。廃校の場合であっても、本項目では「1本校」又は「2分校」を前年度の実態によって記入します。

□卒業者が各区分に重複して該当する場合は、便宜、A→B→C→D→E→Fの順に記入し、重複記入はしないでください。本年5月1日現在の状況を記入してください。したがって、進学、入学した者が5月1日までに退学した場合は、就職した者が5月1日までに退学した場合は進学者、入学者、就職者として扱いません。なお、卒業時から5月1日までの状況の変更に付いて把握できない場合は、卒業時の状況を記入してください。

□学科番号は大分類を記入します。例えば、農業科であれば「201」（小分類）ではなく、「200」（大分類）を記入します。異なる学科（小分類）であっても、大分類の学科番号が同一の場合は、まとめて計上します。小分類の学科ごとに分けて記入はしません。

□学科番号は設置されている学科の男女別にに応じて記入して下さい。（学級編制数又はコース数に応じて学科コードを記入するものではありません。）

□卒業者のうち、左記各欄のいずれに該当するか不明の者、卒業後本年5月1日までに死亡した者。

□「9」に計上した卒業者のうち、大学（学部）又は短期大学（本科）へ願書を提出した者（就職して願書を提出したものを含む）の実数を記入します。同一人が2校（学部・学科）以上に願書を提出した場合も、1名として記入します。例えば、同一人が2校（学部・学科）に入学を志願して、そのいくつかの学校（学部・学科）に合格した場合は、実際に進学した方に記入し、いずれの学校（学部・学科）にも不合格の場合は、第一志望の方に記入します。

□家事手伝いをしている者、外国の学校に入学した者、左記A～Eに該当しない者で進路が未定であることが明らかでない者の数を記入します。

学科名	課程	性別	状況別卒業生数 (平成 年3月の本科卒業生、専修科、別科及び通信課程の修了者は除く)										計		再掲		10 「9」卒業生総数のうち大学(学部)、短期大学(本科)	11 平成 年3月以前卒業生のうち本年度大学(学部)、短期大学(本科)への入学志願者数										
			A 大学等進学者					B 専修学校(一般課程)等入学者		C 専修学校(職業能力開発施設等)入学者		D 就職者(左記A, B, C, Dを除く。)		E 就職者(左記A, B, C, Dを除く。)		F 一時的な仕事に就いた者		G 左記以外の者		H 不詳・死亡の者		大(学部)	短(本科)	大(学部)	短(本科)			
普通科	7 0 1 0	1, 0, 0	男	3	7	4	1	1	0	a	1	b	2	5	5	1	d	4	7	8	2							
	7 0 2 0	1, 0, 0	女	3	5	6	9	5	e		f			5	5	h		3	3									
科	7 0 3 0	2, 0, 0	男	6				3					5					6										
	7 0 4 0	2, 0, 0	女	1	5	3							1					1										
科	7 0 5 0	9, 0, 0	男	4	2			1	6		2		3	6	3			4	2	1								
	7 0 6 0	9, 0, 0	女	4	4	5		3	5			4	1	9	0	1		4	4	4								
科	7 0 7 0		男																									
	7 0 8 0		女																									
科	7 0 9 0		男																									
	7 1 0 0		女																									
計	7 2 1 0	9, 9, 9	男	8	5	0	4	0	0	1	13	16	0	0	8	0	0	7	0	13	4	1	0	9	0	2	0	
	7 2 2 0	9, 9, 9	女	9	4	14	0	0	0	0	4	6	0	0	0	4	1	1	0	16	4	0	1	9	0	0	0	
※	7 2 3 0	9, 9, 9	計	1	7	14	4	0	0	1	5	22	0	0	8	4	1	8	0	29	8	1	1	1	16	0	2	0

- 本校と分校（正規の手続を完了したもの。）ごとに調査票を作成する。分校の調査票は、本校で取りまとめ、校長から提出する。
- 数字は、□□□ の中に一字ずつ、右側につめて記入する。
- 「12」欄の「県内」の男女ごとの数は、「14」欄の当該学校の所在地の男女ごとの数にそれぞれ一致する。
- 符号のa～hは、(4-2)票の「12」欄、(4-3)票の「13」欄、(4-4)票の「14」欄の同符号と必ず一致する。2行目以下同様である。
- 上記「7」欄で○で囲んだ学科又は記入した学科名が「9」及び「12」～「14」の「学科名」欄に正しく記入されているか再確認する。

□左記A, B, C及びDに該当する者で、就職している者は必ず該当欄に記入してください。

□「9」状況別卒業生数のうち、「E就職者」と「(再掲)左記A, B, C, Dのうち就職している者」について、「卒業後の状況調査票(高等学校 全日制・定時制)(4-2)～(4-4)」に産業別・職業別・都道府県別に就職状況を記入します。